

転倒しにくい体づくり!

～今すぐ始める高齢者向け筋トレ～

高齢者の事故で最も多い事故は転倒です。
 転倒を減らすためには、ウォーキングだけではなく、脚力とバランス能力の両方を鍛える筋力トレーニング(筋トレ)による歩行能力の向上が欠かせません。



高齢者向け筋トレのポイント

- 体調に合わせて、決して無理をしない
- 毎日1種類ずつ、1週間で全7種
- ウォーミングアップとトレーニング1種類の組み合わせで行う
- 時間帯は15時ごろから夕食の間、または夕食と就寝の間が効果的
- 少しずつ、毎日続ける

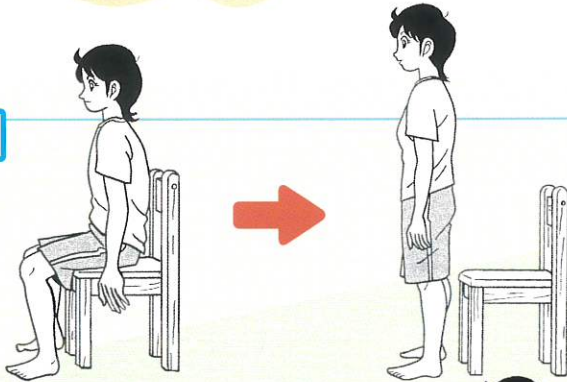


筋トレの始まりは必ずウォーミングアップから!

← その場で軽く足踏み20回

急な運動はケガや急病のもと。
 ウォーミングアップを行うと、体温が上がり体が柔軟になり、運動開始の準備が整います。

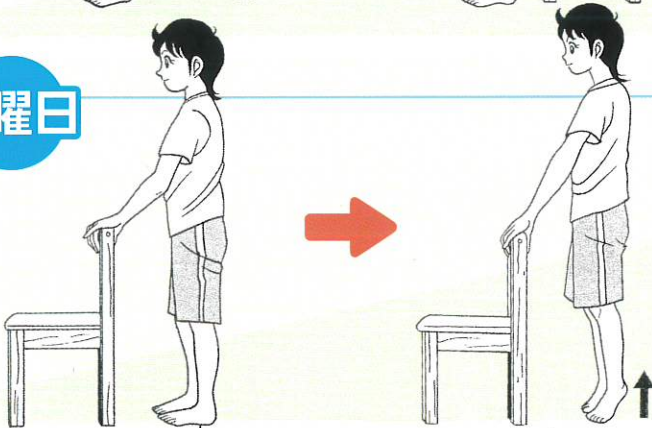
月曜日



1 椅子スクワット運動

部位: 太ももの表側筋肉を中心に足腰全体
効果: 階段の昇り降りが今より楽に!
方法: 車輪無し of イスに深く腰掛ける
 ⇒まっすぐ立ち上がる(息吐く)
 ⇒すぐに座る(息吸う)これを10~15回くり返す
ポイント: 目線は正面をしっかりと維持し、うつむかない

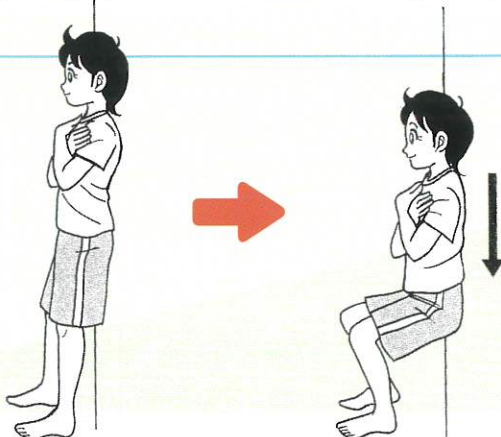
火曜日



2 つま先立ち運動

部位: ふくらはぎの筋肉
効果: 歩く時の蹴る力が強くなり、速く力強い歩き方に!
方法: 車輪無し of イスの背側に立ち、両手で背もたれをつかむ
 ⇒膝を伸ばしたまま、背伸びをする(息吐く)
 ⇒かかとを下げる(息吸う)これを10~15回くり返す
ポイント: 正面を向き、できるだけ大きく上下動

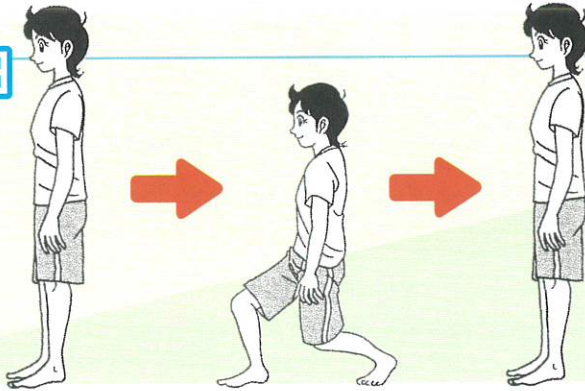
水曜日



3 ウォールスライド運動

部位: 太もも、お尻を中心に足腰全体
効果: 階段の昇り降りが今より楽に!
方法: 両腕を胸の前で組み、両足は肩幅に開き、壁から30~40cm離れて壁に寄り掛かる
 ⇒膝をゆっくり直角手前まで曲げる(息吐く)、
 ゆっくり立ち上がる(息吸う)
 これを10~15回くり返す
ポイント: 壁から離れすぎない、正面を見る、うつむかない

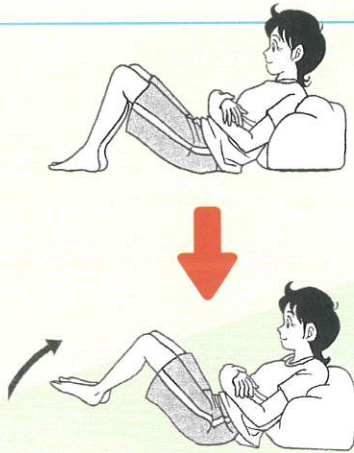
木曜日



4 ランジ運動(レグ・ランジ)

- 部 位：太もも全般、特にももの内側
 効 果：足首の固定力、バランストレーニングにもなる
 方 法：足は肩幅、右足を1歩前に
 ⇒胸を張って腰を落とす
 ⇒右足で床を蹴って元の直立姿勢に戻る
 これを左右で5～10回くり返す
 ポイント：膝とつま先が同じ方向を向いていること

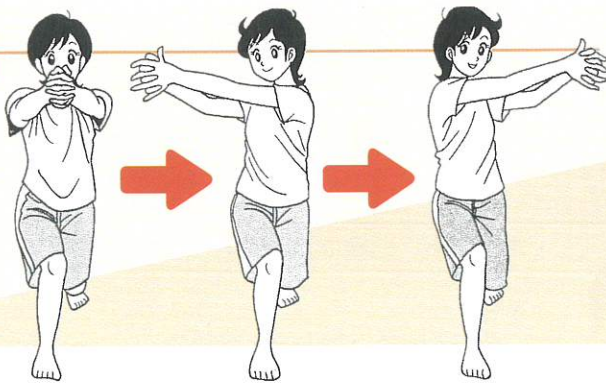
金曜日



5 下腹部の運動

- 部 位：腹筋、股関節を曲げるときに使う筋肉
 効 果：きびきびとした歩き方になり、つまづきにくくなる
 方 法：背にクッションをあてて仰向けに寝る
 ⇒両手を胸の前で組み、膝を直角に曲げ足を床に着ける
 ⇒ゆっくり息を吐きながら足を床から15～30cm上げる
 ⇒ゆっくり息を吸いながら足をもとの位置に戻す
 これを10～15回くり返す
 ポイント：太ももの筋肉も意識する、足を上げているときに息を止めない

土曜日

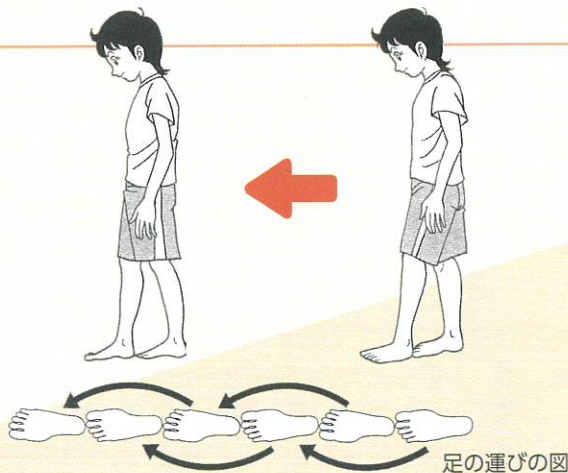


6 体ひねり

バランス
トレーニング

- 部 位：股関節の内転筋、バランス能力
 効 果：片足の姿勢でも安定して立てる
 方 法：片足を前に踏み出し、両腕を伸ばし前で組む
 ⇒体を大きく右にひねり、次に左にひねる
 ⇒左右の足を入れ替え同じ動作を10回くり返す
 ポイント：左右とも自然な呼吸を心掛ける

日曜日



7 継ぎ足歩き

バランス
トレーニング

- 部 位：脚部、バランス能力
 効 果：バランスをとりづらい姿勢で、非常に小さな歩幅で歩くことにより、通常の歩行時にまっすぐ歩けるようになる
 方 法：左足と右足を前後にくっつけ、小さな歩幅で10歩ほど歩く
 ポイント：足の運び図を参照

